

第23回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成23年2月

応募者名:北海道 釧路総合振興局 釧路建設管理部

事業の名称:釧路圏都市計画道路事業

3・3・13号 星が浦海岸通

実施都市名:北海道 釧路市

事業目的

当路線は、釧路市街西部に位置し、釧路西港と釧路市街、国道38号へと接続する幹線道路であり、釧路西港及び周辺工業区域と地方とを結ぶ重要な道路として位置づけられている路線である。

3・3・13星が浦海岸通の整備により港湾物流機能の確保と臨海工業地区の土地利用促進、交通円滑化による周辺道路の交通渋滞の解消に寄与するものである。

事業概要

事業名称: 釧路圏都市計画道路事業

3・3・13号星が浦海岸通

路線名: 一般道道 釧路西港線

事業箇所: 釧路市星が浦南2丁目～星が浦南5丁目

事業延長: 1,060m

幅員: 29.0m

事業費: 42億円

事業実施期間: 平成16年度～平成21年度

本事業は、JR根室本線の新大楽毛駅～新富士駅付近の約2.2kmにおいて鉄道を高架化し街路整備を行うことにより釧路西港の機能、効果を最大限に引き出し、都市内交通の円滑化を図るとともに、分断された市街地の一体化による都市の活性化を図る事業である。

鉄道と道路の交差箇所は道道、市道の2箇所があり、それぞれの道路を単独立体交差にした場合と、鉄道を高架化した場合を比較したところ、鉄道を高架(L=1.45km)にしたほうが経済的であったため北海道(3・3・13星が浦海岸通)と釧路市(3・2・10星が浦西通)が事業主体となり限度額立体交差事業にて整備を行った。

3・3・13星が浦海岸通の整備効果アピール資料

事業概要

事業名: 釧路圏都市計画道路事業
 3・3・13号星が浦海岸通
 路線名: 一般道道 釧路西港線
 事業箇所: 北海道釧路市星が浦南2丁目
 ~星が浦南5丁目
 事業延長: 1,060m
 幅員: 29.0m
 総事業費: 42億円
 事業期間: 平成16年度~平成21年度

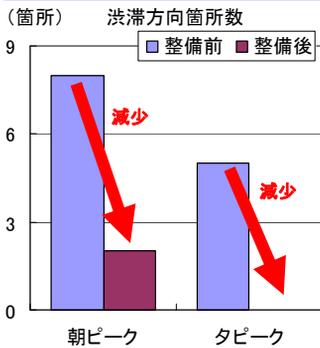
事業位置図



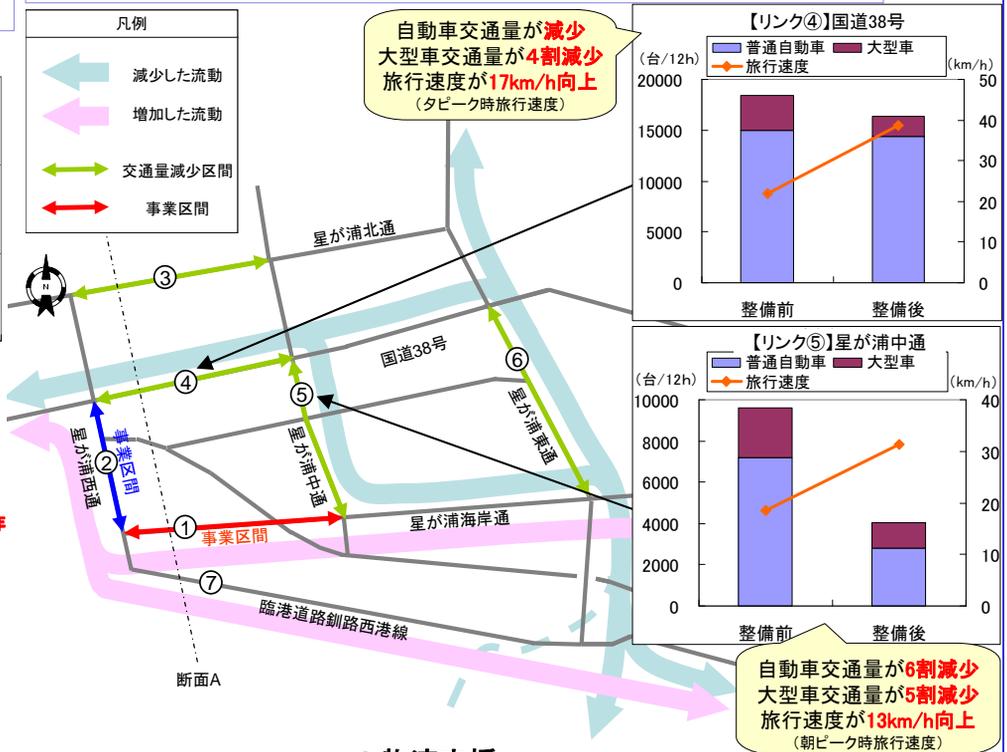
整備効果

1. 交通の円滑化

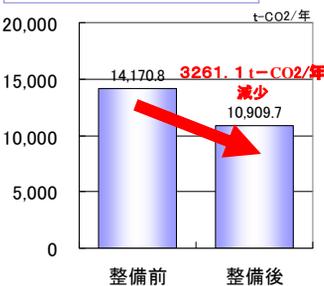
・周辺道路の渋滞箇所の減少



・周辺道路の自動車交通量の減少と旅行速度向上、大型車交通量の減少



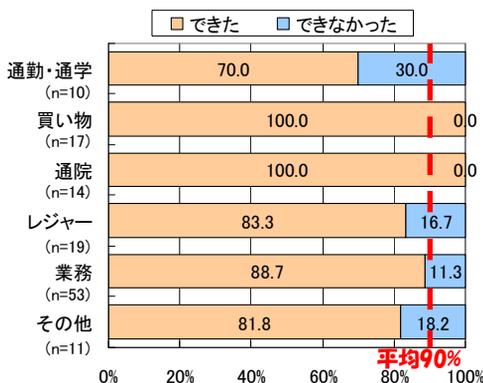
・CO2排出量の減少



2. 走行の安全性向上

・道路利用者の**約90%**が「安全走行できている」と回答

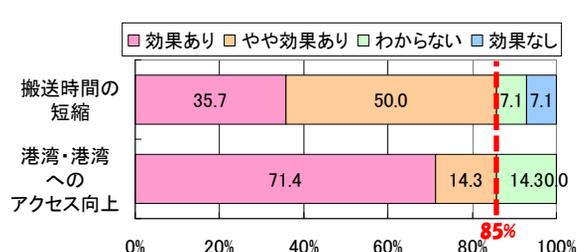
事業区間の利用について「安全に走行できましたか？」
 (道路利用者アンケートより)



3. 物流支援

・周辺運送会社・事業所の**約85%**が「搬送時間が短縮した」、「港湾へのアクセスが向上した」と回答

事業区間整備後の効果
 (運送会社・事業所ヒアリングより)



「冬期間の跨線橋利用時の**不便さが解消した**」
 「移動時間が10分ほど**短縮した**と感じている」
 (運送会社・事業所ヒアリングの感想)

事業前写真

平成17年6月撮影



■星が浦海岸通

平成19年5月撮影



平成19年5月撮影



■国道38号 混雑状況

平成20年7月撮影



■釧路西港から国道38号へ流入する混雑状況

平成20年7月撮影



事業後写真

平成22年4月撮影



■星が浦海岸通(鉄道高架)

平成21年1月撮影



平成20年9月撮影



■星が浦海岸通(鉄道高架との交点付近)

平成21年4月撮影



平成21年4月撮影

